

## 1 学校教育目標

○ 基礎基本を身につけ、自ら進んで学ぶ生徒    ○ 心身ともに健康で、思いやりのある生徒    ○ お互いに協力しあい、ともに向上する生徒

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人が明るく笑顔で元気に生活でき、個性や能力を発揮・伸長できる学校</li> <li>・教職員が互いに信頼し、高め合う中で、学校組織として機能する学校</li> <li>・公立中学校として、保護者や地域から信頼される学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『文武両道』を目指し、何事にも意欲的に取り組む生徒</li> <li>・人の気持ちを考えることができ、感性豊かで豊かな人間味に溢れた生徒</li> <li>・変化の激しい社会に向けて『生きる力』を身に付け、自己実現に向けて日々努力する生徒</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生徒を人間として尊重し、良さや可能性を最大限に引き出せる教師</li> <li>・常に自己研鑽に励み、指導力向上を目指し続ける教師</li> <li>・保護者や地域から信頼され、協働して教育活動を行なえる教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- ・生徒の特に目立った生活指導などの問題はなく、落ち着いた学校生活を送っている。
- ・生徒は素直で実直な姿勢を持ち、人懐っこく一昔前の時代のような親しみやすさがある。
- ・運動会や文化祭などの行事に意欲的に取り組む姿が見られ、行事の際は、学校全体が活気づいている。
- ・保護者や地域住民は学校活動に非常に協力的で、支援体制が整っている。
- ・若手教員が多く、成功体験には乏しいものの、勤勉さや向上心を持ち合わせている。

### 【前年度の成果と課題】

#### 〈成果〉

- ・挨拶を積極的に行う生徒が増え、学校全体の雰囲気明るくなってきている。
- ・一部の生徒がボランティア活動に積極的に参加し、その流れが徐々に広がりつつある。
- ・毎朝、生徒共にCSやPTA協力の下、校門前での挨拶運動での成果が徐々に出てきている。
- ・CS運営委員とPTAの積極的なサポートにより、生徒のより良い活動の場が提供されている。

#### 〈課題〉

- ・「分かる授業」に取り組んでいるものの、国や区の学力調査の結果に反映されにくい状況が続いている。
- ・生徒全体に覇気や活気が不足しており、意欲的な姿勢が広がりきっていない。
- ・SSRの整備を含め、よりきめ細かな不登校生徒への対応を推進していく。
- ・CSとして、地域の教育力を生かした教育活動や地域に根付いた学校づくりに努めていく。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	自己肯定感の育成	○	○	○	○	○
3	保護者・地域との積極的な連携によるコミュニティ・スクール活動の推進	○	○	○	○	○

## 5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン								
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●		
学習意欲の向上と 確かな学力の定着		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区学力調査各教科 65%以上</li> <li>・定着度確認テスト 正答率 各教科 65%以上</li> </ul>				自己評価の際に記入				
B 目標実現に向けた取組み										
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●	
1 継続	「分かる授業」の実践 授業の充実	全教員 全教科	年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「足立スタンダード」(虎の巻)を基にした授業の実践</li> <li>・ICT機器(タブレット)の効果的な活用。</li> <li>・Qbena 問題作成マニュアルの活用</li> <li>・教科指導専門員(国語、数学、英語)の授業観察による指導・助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区学力調査の意識調査</li> <li>・WEBQUの学校生活意欲の尺度7</li> <li>・生徒アンケート(分かりやすさ、ICTの活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が楽しい 90%以上</li> <li>・授業が分かる 80%以上</li> <li>・年度末の生徒アンケート 肯定的回答 共に 90%以上</li> </ul>	自己評価の際に記入			

2 継続 (改善)	朝読書及び 読書推進キャ ンペーン、 図書館活用	全生徒	毎週 月～金 (除朝礼 時)始業 前10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書習慣を付け、読解力と語彙力の向上を図る。</li> <li>・年3回の読書推進キャンペーンの実施及びポップ作り+廊下掲示を行う</li> <li>・学校司書と連携し、図書館利用率を上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート</li> <li>・図書館貸出冊数調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月読書0冊回答30%以下</li> <li>・1月150冊貸し出し</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
3 継続 (改善)	自主学習教室 +居場所づく りの提供	希望生徒 全教科	毎週 水・金 放課後 90分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習教室では、教員や学生ボランティアの指導とともに生徒同士の教え合い学習を導入する。</li> <li>・学習教室日以外は図書館において学習できる環境を整え、自学自習の促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習教室参加生徒数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒数前年度増100名以上</li> </ul>	
4 継続 (改善)	朝学習 3科学習 コンテスト (ポジティブ フィードバック)	全生徒 国語 数学 英語	年3回 6月 国語 12月 英語 1月 数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテスト前1週間の対策学習プリントによる朝学習</li> <li>・定期考査2週間前の朝学習キャンペーン</li> <li>・80点以上を合格とし、不合格生徒には再テストや放課後補習を行い、理解が不十分な内容の補充を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテスト結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリント(原則回収)</li> <li>・AIドリル等の結果確認</li> <li>・合格生徒(80点以上)70%以上</li> <li>・優秀賞(90点以上)50%以上</li> <li>・満点賞30%以上</li> </ul>	

5 継続 (改善)	サマースクール 中1 夏季勉強 合宿	希望生徒 数学 英語 等	夏休み 期間中 6日間 各日 50 分×3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任を中心に全教員で、基礎基本の定着を図り、理解が不十分な内容の補充、克服を行う。</li> <li>・必要に応じて3年次に5教科の授業を行い、入試に向けたコースも開設する。</li> <li>・中1 勉強合宿へ参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ参加生徒数</li> <li>・合宿後の振り返りテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマースクール参加生徒数 前年度増 (600名以上)</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
	6 新規	放課後定期 考査対策 (定期考査 2週間)	希望生徒 及び、 抽出生徒 全教科	定期考査 前2週間の 放課後 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科を割り振り、安全管理者を除き、全教員でのテスト対策</li> <li>・質問教室の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート (分かりやすさ)</li> </ul>	

<b>重点的な取組事項－2</b>		自己肯定感の育成			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
何事にも主体的、積極的に取り組む生徒の育成		生徒の学校生活評価で、取組項目の肯定的回答を90%以上にする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
プロジェクト型学習 (PBLの実施)	生徒の学校生活評価「学校への満足度」項目の肯定的回答を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会や文化祭を実行委員形式で実施し、生徒の実行委員が主体となり、種目の提案・練習計画・当日の運営に取り組ませる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		

ボランティア活動の促進	生徒の学校生活評価「ボランティア活動に積極的に参加している」項目の肯定的回答を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「五中ボランティア」で生徒への意識付けを行い、ボランティア活動へ積極的に取り組ませる。</li> <li>・事前指導や講演会により意識を高めさせ、ボランティアリーダーを育成する。</li> <li>・個人による自主的なボランティア活動を推進する。</li> </ul>	<div data-bbox="1514 703 1805 743" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自己評価の際に記入</div>
挨拶運動の促進	生徒の学校生活評価「自分から挨拶をしている」項目の肯定的回答を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会・学年委員を中心に、ほぼ毎日、毎月15日は地域が参加して、朝の挨拶運動を実施する。</li> </ul>	
きめ細かな不登校対応の推進 (SSR・さくらルームの活用)	30日以上欠席生徒数を前年度より減らす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SCやSSW、関係諸機関との連携を積極的に図り、全教員で情報を共有しながら組織的に対応する。NPO法人の連携事業の活用を図りながら減少を目指す。</li> </ul>	
生徒の実態把握	毎月、朝礼後に「こころの声」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こころの声」で生徒の変容を把握する。学年の教員を中心に全教員で供覧し、情報の共有化を図る。</li> </ul>	

重点的な取組事項－3		保護者・地域との積極的な連携によるコミュニティ・スクール活動の推進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域からより一層信頼される学校づくり		保護者・地域の学校評価で、「学校への満足度」の肯定的回答を90%以上にする。	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
地域でのボランティア活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ボランティアへの延べ参加数を100名以上とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事や避難所運営訓練等へのボランティア生徒を積極的に募り、地域との交流を図らせる。</li> <li>地域の住人の一人として自覚させ、自分の役割について考えさせる。</li> </ul>	自己評価の際に記入		
CSメンバーと教員・生徒との意見交換会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>CS運営委員と生徒及び教員との意見交換会を各1回実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒や教員の声を地域に直接届けるとともに、地域から学校への要望を直接聞く会を実施する。</li> <li>課題を共有しながら今後の教育活動を考えることにより、連携を深める。</li> </ul>			
CS「協力し隊」活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域参観日を毎月実施する。</li> <li>放課後の活動支援を発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域による授業参観の取組を継続し、課題を共有しながら教育活動に生かしていく。</li> <li>放課後居場所づくりの運営及びSSRの見守り役などへの体制を整え、協力を仰ぐ。</li> </ul>			